

幼稚園だより

2月号

令和6年 1月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

全園児で遠足に行きました

園長 岩崎 昇

昼夜の寒暖差が増す今日この頃、花粉の飛散も気になる季節となりました。先日は、幼稚園評価アンケートの回答もありがとうございました。皆様から頂いた回答を真摯に受け止め、今後の幼稚園運営に努めてまいります。

さて、1月16日のミュージアムパーク茨城県自然博物館の見学では、興味関心を高めた園児の様子をうかがうことができました。博物館では、実物大の恐竜やマンモスの模型、人間が小さく感じられる地中の昆虫の巨大模型、海や川の生物、植物や鉱物など大変盛りだくさんの展示に目を奪われていたようです。帰宅後に園児たちは遠足の様子を話していたでしょうか。この時期に多くの体験や自然との触れ合いを通して、一人ひとりに秘めた可能性を開花できる活動を実施していきたいと思えます。

1月23日には来年度の新入園児保護者会を実施し、その間、新入園児には在園児が交流をしました。自然と一緒に遊べるのが、微笑ましくなります。きっと、来年も仲良く交流活動ができるでしょう。来年の入園予定者数は、3歳児15名、4歳児2名を予定しています。

寒い時期が続きますが、感染症対策を緩めることなく、幼稚園の活動を進めてまいります。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・友達や教師と一緒に表現遊びを楽しむ。
- ・一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりしていく。

《4歳児：こあら組》

- ・興味のあることにじっくり取り組むことを通して、自信や意欲を育む。
- ・表現活動を通して、自分なりに表現をしたり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・互いの良さを認め合いながら、意欲的に遊びや生活を進める。
- ・繰り返したり、試したりしながら、自分なりの課題に取り組もうとする。

